

会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております。

++ CONTENTS ++

- 【1】青銀会理事によるリレーエッセイ :理事 森 勇介 氏
- 【2】学生会による大学発ベンチャー訪問記
- 【3】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ
- 【4】編集部からのお知らせ
- 【5】編集後記

【1】青銀会リレーエッセイ 寄稿:森 勇介

以前に高野山大阿闍梨から
「働く」とは「傍(はた)の人を楽(らく)にすること」
という意味だという話を聞きました。

強いリーダーシップを発揮しているように見えても、プレッシャーをかけるだけだと周囲の方々が辛くなって、最後にはリーダーから離れていってしまうという失敗例は良く有ることのように思います。

強いリーダーシップも良いやり方があると思いますが、ハーバードビジネススクールのBadaracco教授の「静かなリーダーシップ(quiet leadership)は、ペースが鈍いように見えても、結局は組織を作る一番の早道である」という話もあるようです。

何れにせよ、良いリーダとは上手いかなかった時に、周囲や環境のせいにするのではなく、自分の徳分が少なかったのだと思える人だと思います。

煩悩の無い聖人のような人が良いかというそうではなく、大阿闍梨は、煩悩は無くすのではなく、もっと大きくしなさいといわれます。
小さい煩悩はまずは自分の幸せを第一に考え、それがドンドン大きくなると、最後は皆の幸せを考え実行するようになるということのようです。

これを仏教では煩悩即菩提と言うそうです。ベンチャービジネスにおいても、社長はドンドン煩悩を大きくして、世界中の人々の幸せを心から願い活動するというのが成功への早道のように思います。

また成功するためには、「出来てから実行しなさい」と言われるのですが、これは、弓矢なら的に当ててから矢を射る、研究では発見してから実験する、ビジネスでは成功してから会社を創る、という意味で、成功イメージを最初から持っていなさい、ということだそうです。

振り返って見ますと、私の研究でも、頭で色々考えたテーマは大抵失敗し、最初から答えが天から降ってきたような時に成功しているように思います。
この前、和歌を詠む方とお話をしたのですが、良い歌が出来る時は、考えていないで、言葉が勝手に湧いてくるとのこと。

結局、良いものは、何かsomething greatのような力に導かれるときに創られるのではないかと思います。

最近、冒険家の三浦雄一郎さんが出演されるテレビを見ましたが、毎日本当に凄まじい精進を続けておられ、その精進があつてこそ75歳でエベレスト登頂成功されたというのが良く分かりました。
良いことを思って、日々の精進を続ける、ということが成功への王道のように思います。

【2】VB訪問記 produced by 学生会Az

♪♪♪

アイキャットのインターンが始まり、3ヶ月が経とうとしています。

初めは力業で出来る業務内容であると思い、時間さえかければ可能な仕事であると考え安易に引き受けました。

しかし、実際に動いてみるとこのプロジェクト、膨大な情報があり、それを効率的にまとめていくのが非常に困難であると開始一週間で気がつきました。

数名の仲間と毎日ミーティングを行い、各自の仕事を分担、毎日連絡を取り各自の進捗、問題点を話し合いました。

今回責任者として、仲間の仕事を月に一度アイキャットに報告に行くのですが、毎回報告の日が楽しみでした。普段苦労はしているものの、一ヶ月振り返ると自分たちの仕事が進んでいるからです。

このプロジェクトもずいぶんゴールに近づいてきました。
今回のプロジェクトの成果がアイキャットにプラスになるよう、メンバーとラストパート、ダッシュで頑張ります！

♪♪♪

【3】イベント・セミナー・助成金等のお知らせ

▼△▼△

平成20年度新連携対策補助金
(事業化・市場化支援事業、連携体構築支援事業)の公募について

本制度は、その行う事業の分野を異にする2以上の中小企業者が有機的に連携し、その経営資源を有効に組み合わせて、新商品の開発又は生産、新役務の開発又は提供、商品の新たな生産又は販売の方式の導入、役務の新たな提供の方式の導入その他の新たな事業活動を行う事業、及び、同事業を行う連携体を構築するための事業に要する経費の一部を補助するものです。

■公募期間:

○事業化・市場化支援事業

2008年07月01日(火)～2008年07月31日(木)

○連携体構築支援事業

2008年07月01日(火)～2008年07月31日(木)

■詳細:

http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/shinpou/080206shinrenkei_koubo.htm

■問い合わせ:

近畿経済産業局 産業部 中小企業課

TEL 06-6966-6054 FAX 06-6966-6083

▼△▼△

産業技術研究助成事業(若手研究グラント)の平成20年度第2回公募

本事業は、産業技術を担う技術シーズの発掘・育成と研究人材の育成を目的として、大学・研究機関等の若手研究者(個人又はチーム)が取り組む、優れた研究テーマに対して、直接経費及び間接経費(直接経費の30%相当額)を助成します。

今回の公募では、「地球温暖化対策に資する研究テーマ」を重点的に募集することとしております。

■公募期間: 2008年07月02日(水)～2008年08月29日(金)

■詳細:

<https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/CA/nedokouboplace.2008-03-12.5428342812/nedokoubo.2008-05-29.7939375385/>

■問い合わせ:

NEDO技術開発機構 研究開発推進部 若手研究 Grantグループ

TEL 044-520-5174 MAIL sangi-202@nedo.go.jp

▼△▼△

平成20年度「独創的シーズ展開事業 委託開発」の公募について

本事業は、新技術をもとにJSTが開発実施企業に開発費を支出します。
開発が成功の場合、開発費の返済(無利子)を求め、不成功の場合は開発費の支出の10%分についてのみ返済を求めます。
残りの90%について開発費の返済を求めないことにより、JSTが開発のリスク負担を行って新技術の開発を促進します。

■公募期間: 2008年06月11日(水)～2008年08月20日(水)

■詳細: <http://www.jst.go.jp/pr/info/info492/index.html>

■問い合わせ:

独立行政法人科学技術振興機構 産学連携事業本部 開発部

開発計画課 担当: 久保、崎原

TEL: 03-5214-8994 FAX 03-5214-8999 MAIL: project@jst.go.jp

▼△▼△

▼△▼△

第19回NAIST産学連携フォーラム開催
『メディア処理技術の最前線と実用化への取り組み』

関西における新産業の創出を目指して、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)で生まれた先端的な研究成果や、独創的な研究を紹介し、あわせて研究者・技術者との交流を目的としてNAIST産学連携フォーラムを開催いたします。最先端のメディア処理技術研究をご説明するとともに、実利用に結びつけるための試みについてもご紹介し、産学連携の方向を探りたく思いますのでご案内いたします。

■日 時: 2008年07月25日(金)

■会 場: 関西経済連合会 29階会議室

■詳細:

<http://www.science-plaza.or.jp/topics/sangakuforum/forum19enter/index.html>

■問い合わせ:

奈良先端科学技術大学院大学支援財団(担当: 乾・志野)

TEL: 0743-72-5810

▼△▼△

【4】編集部からのお知らせ

★☆☆☆

青い銀杏の会メールマガジン編集部では、会員企業様からのお知らせや特別賛助会員様、賛助会員様よりメッセージ、勉強会お知らせ等をお待ちしております。

会員同士の活発な情報交換のために、宜しくお願いいたします。

メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com

【5】編集後記

第15回青銀会メールマガジン最後までお読み頂きありがとうございました。
ベンチャー訪問気のコラムも書かせていただいておりますが、アイキャットのプロジェクトも、研究も7月末をめどに少し落ち着く予定です。
これらのプロジェクトが落ち着き次第、打ち上げということで、ビアガーデンに行こうかと思います！これを楽しみにしばらく全力疾走の予定です。
梅雨も今日明けました。暑い日々が来ますが、皆様もご自愛ください。

(文責 川上)

- ☐ 発行責任者: 青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>
 - 編集: 青い銀杏の会 学生会Az <http://www.osaka-u.com/gakusei-az/>
 - ☐ メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com
 - このメールマガジンの、お知り合いへの紹介や転送は自由です。
 - ☐ Copyright (c) 2008 青い銀杏の会. All rights reserved.
-